

海外コーオプ 中国青島 日本語サポート



2025.9.1- 2025.9.20
参加者: 国際コミュニケーション学部 稲垣礼乃

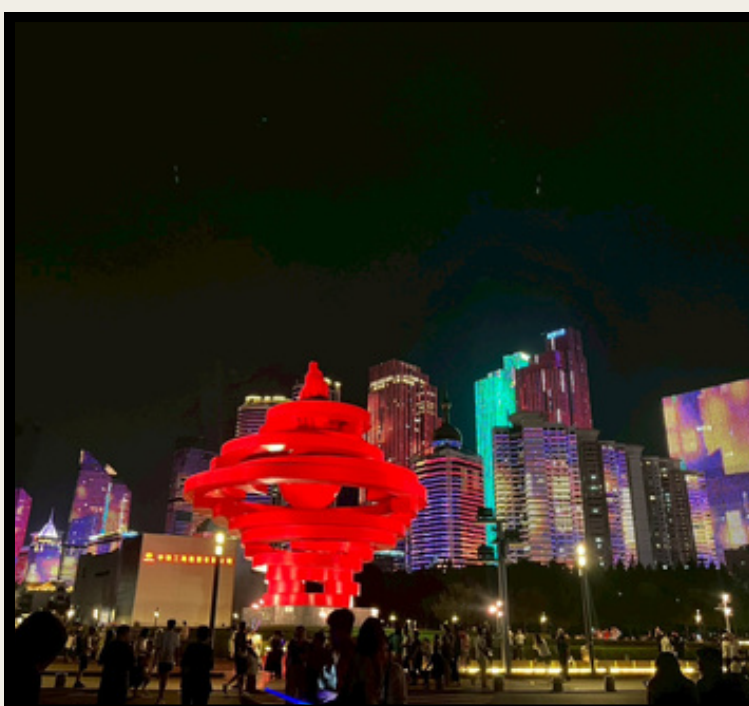


プログラムの概要と目的

自らのキャリア設計に関連した分野での就業体験を行い、企業、組織等の人間関係などを、実際に体験することにより、理解を深め、就業意欲を高め、将来のビジョンを明確にします。

外国語や異文化に触れ、多様な世界の人々や自分たちの社会について理解を深め、国際的な視野を身に着けます。

中国山東省青島市



Office Work

1 日本の中国語学科のある専門学校を探す

日本の協定校を増やすために探しました。そして、メールを送ったり、電話を掛けたりしました。

2 大学のパンフレットの日本語版作成

大学のパンフレットの日本語訳版がなかったので作成しました。ただ翻訳するのではなく、日本人に伝わりやすい表現に変えることを意識しました。

3 PR動画の日本語レコーディング

大学のPR動画の日本語訳をレコーディングしました。アナウンサーのようにゆっくり話す事や間のとり方に気を付けました

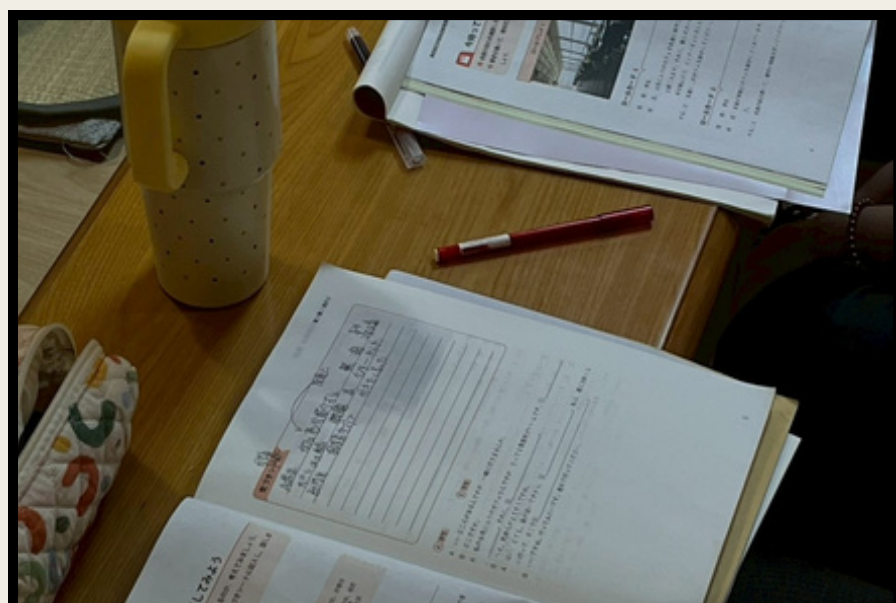
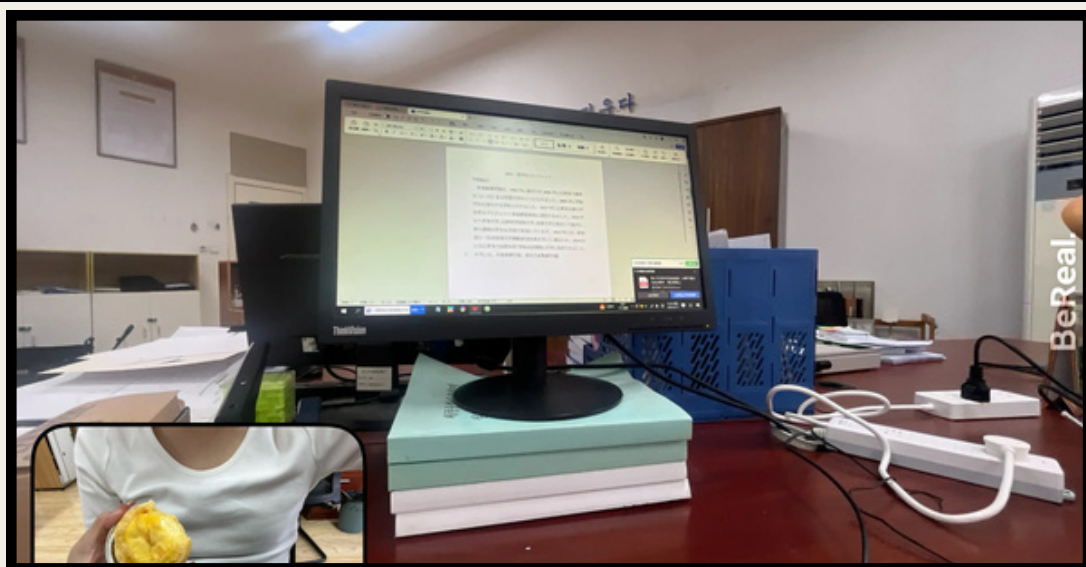
Activity work

1 先生のサポート

会話の授業だったので、生徒にお手本を見せる時、私が相手役として見本を見せました。
また、宿題を回収したり、授業内課題を回収するなど先生が効率的に授業を進められるようサポートをしました

2 理解していない学生の補助

日本人の先生が日本語で授業を進めていたので、先生の指示が理解できない生徒がいたら、すぐに声をかけてサポートをしました。



たこ焼きパーティー



日本語学科の学生と日本からの留学生3名でたこ焼きパーティーをしました。
作ったことが無い生徒が多く、くるくるするのが楽しいと言って楽しんでくれました。



中国語クラス



毎日朝8時から12時まで4コマ勉強しました。
クラスは韓国人とロシア人が多かったです。
休憩時間になると国籍関係なくおしゃべりをし、楽しかったです。



成長した点

このプログラムに参加する前は、指示を受けないと行動できませんでした。しかし、授業についていけない生徒たちのために、放課後に少し会話をする時間を自主的に設けました。宿題を手伝ったり、一緒に話したりするうちに、次第に仲良くなり、授業中も生徒たちが楽しそうに授業を受けてくれるようになりました。この経験を通して、自分で考えて行動することの大切さに気づき、大きく成長できたと思います。

中国に行って感じたこと

中国に行き驚いたことは入学時の軍事訓練が強制なことです。男女ともに強制で約2週間訓練をしていました。日本ではありえないし、今まで見たことのない光景だったため衝撃を受けました。ほかにも車の運転や飲食店でも日本と違うことが多くて驚きましたが、毎日が新鮮で刺激的で楽しく充実していました。

今後の発展

私は来年から就職で、観光業の会社に内定が決まっています。そこでは英語や中国語を使って、海外から日本に来られる観光客のツアーコーディネーターをします。
今回、中国の文化や歴史を肌で実感することができとても貴重な経験をさせていただきました。

